



いそざき議員、はまぐち議員

3/12~14参議院予算委員会にて、私たちの声を代弁
「103万の壁引き上げ」「自賠責早期繰り戻し」「米国との関税交渉」

生活者/勤労者
目線で訴える!

▶ 103万円の壁引き上げと経済効果

政府案は所得制限があり、かつ年収850万円までの中間所得者層では2年間限定措置。経営者は将来の見通しが立たなければ、賃上げを判断できない！
中小企業の賃上げが進まなければ日本のGDP 5割超を占める個人消費の回復は限定的となる。政府は一刻も早く生活者の手取りを増やすため、**中小企業の経営安定化や支援策**を講じるべき！



いそざき哲史
参議院議員



【石破総理】の答弁は
動画をご視聴ください。

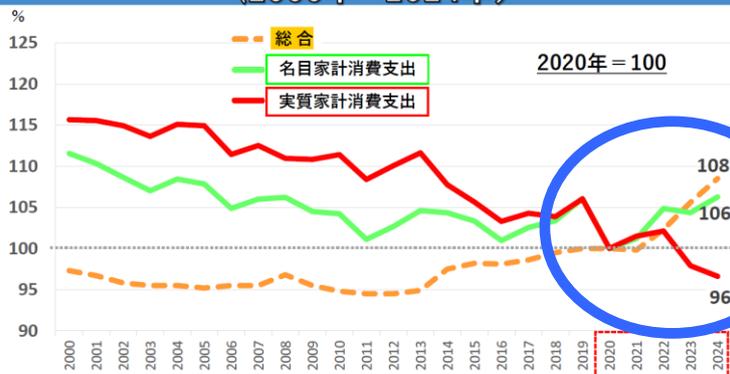
石破総理

基礎控除に所得要件を入れるというのは趣旨が違わないか？
手取りが増えることが重要だ！
(3/12予算委員会)



はまぐち誠
参議院議員

消費者物価×家計消費支出 からみる生活者実態
(2000年~2024年)



消費者物価×家計消費支出 からみる生活者実態
(直近5年間)



物価上昇により、同じ支出額
でも買える量が減っている！

【いそざき議員】

名目家計消費支出は2000年から減少していたが、2020年から増加傾向にある。
しかし、物価上昇の影響で、実際に各家庭で買えるものはむしろ減っていると言える。
家計の負担が重くなっており、政府に早急な対応をお願いしたい！

【石破総理】の答弁は動画をご視聴ください。

▶ 自賠責早期繰り戻し

自動車ユーザーが積み立ててきた自賠責保険料が一般会計に繰り入れられて30年経過するが、**約5800億円が未返済**の状況。
令和7年度は補正予算と合わせて**100億円予算計上**されたが、交通事故などの被害者支援事業は**年間120～130億円**になっており、**積立金を取り崩さなければ成り立たず、安定的な運営が困難**。
現状の返済ペースでは積立金が枯渇し、被害者救済が停止する恐れがある。
国民負担が増加しないよう、早急な繰り戻しを政府に強く求める！



いそざき哲史
参議院議員



【中野国交大臣】【加藤財務大臣】の答弁は動画をご視聴ください。

仮に積立金が枯渇してしまった場合・・・交通事故などの被害者支援事業を継続するために、私たち自動車ユーザーの自賠責保険の負担料金が今より高く設定される可能性があるんだ 



▶ 電動キックボードなども自賠への加入徹底を要請 (3/13国土交通委員会)

【はまぐち誠議員】
モペット（ペダル付き電動バイク）、電動キックボードは自賠責保険への加入が義務付けられているが、加入している、もしくは不明な人を含めても67%程度にとどまる。
しかし、無保険で事故を起こした場合、自賠責保険と同様に救済を受けることができ、**「保険加入者が負担している」**。モペットや電動キックボードに関しては、**加入確認の体制をより強化する必要がある！**

▶ 米国の関税交渉

【いそざき議員】
米国の関税措置により、日本企業が不利な立場となる可能性がある。
政府には、米国との交渉や対策を強化し**日本企業を守るために積極的な取り組みを求める！**



米国の関税措置が見直しされると、日本の自動車産業へ非常に大きな影響があるんだ。
2024年、日本→米国向けの輸出乗用車台数：133万台。乗用車全体の3分の1。
例えば、現在の税率2.5%→10倍の25%になってしまうと、売価400万円の乗用車が500万円となってしまい、販売台数が落ち込む可能性が出てくるんだ。

【武藤経済産業大臣】の答弁は動画をご視聴ください。

 本件に関するお問い合わせ・ご感想は自動車総連 政治・政策局までご連絡ください。 

(右のQRからご入力いただけます)

本質疑詳細内容は、インターネット審議中継にて録画をご覧になれます。

<https://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/index.php>

